



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社キッズスター

上場取引所 東

コード番号 248A

URL <https://www.kidsstar.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役

（氏名） 平田 全広

問合せ先責任者（役職名） 取締役

（氏名） 細田 正志

（TEL）03(6805)5625

半期報告書提出予定日 2025年8月14日

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	580	—	150	—	151	—	97	—
2024年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年12月期中間期 97百万円（—％） 2024年12月期中間期 ー百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	38.25	37.48
2024年12月期中間期	—	—

（注）当社は、2025年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期中間期の数値及び2025年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	2,846	2,276	79.9
2024年12月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 2,274百万円 2024年12月期 ー百万円

（注）当社は、2025年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,105	—	219	—	214	—	131	51.72

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2025年12月期第2四半期（中間期）より中間連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。また、上記の連結業績予想は、連結対象となるKIDS STAR Vietnam Co., Ltd.の業績予想を織り込んだ数値となります。なお、上記の連結業績予想は、従来の個別業績予想の数値と同様の数値としております。
3. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年12月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社（社名） KIDS STAR Vietnam Co., Ltd.
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	2,549,000株	2024年12月期	2,537,500株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	—株	2024年12月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	2,546,765株	2024年12月期中間期	—株

(注) 当社は、2024年12月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

当社は、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、「子どもの夢を育て、応援する」をミッションに掲げ、ファミリー向け社会体験アプリ「ごっこランド」の開発・運営及びイベントの企画・運営、子ども向けプロダクトを通じた企業・団体の事業開発支援をしております。

当中間連結会計期間における当社の運営状況は、ファミリー向け社会体験アプリ「ごっこランド」におきましては、当中間連結会計期間末において累計ダウンロード数が790万を突破、パビリオン出店数は96店となり、計画通りに進捗しております。プレイ回数は、当中間連結会計期間（1月～6月）の月間平均プレイ回数が2,426万回（前年同期比21%増）となり、2025年3月には月間2,854万回を記録いたしました。これは、「ごっこランド」のリリース以来、過去最高の月間プレイ回数となります。

2024年7月より開始した「ごっこランド」のリアル版である「ごっこランドEXPO」は、大規模なモールや商業施設におけるファミリー向けイベントであり、アプリで慣れ親しんだ世界観を、全国各地で体験できる場所となります。ひと目で「ごっこランド」と感じられる装飾を施した会場で、子どもたちが楽しみながら学べるワークショップの開催、クイズラリー及びフォトスポット等を提供しております。これにより「ごっこランド」のパビリオン出店企業は、アプリのみならず、リアルな世界において、自社サービスや商品とのタッチポイントと良質な原体験を創出することができ、更なるファン作りに繋がるのが可能になるものと考えております。当連結会計年度では、「ごっこランドEXPO」の本格展開を開始しており、前事業年度の6倍にあたる30ヶ所の開催を計画しております。なお、当中間連結会計期間においては、13ヶ所にて開催し、当連結会計年度目標である30ヶ所の開催に向けて順調に進捗しております。また、2025年10月10日・11日には、大阪・関西万博の会場において「ごっこランドEXPO」の開催が決定しており、既存の開催場所に加え、多様な形でのイベント開催を目指し、ユーザーとの接点創出を図ってまいります。

「ごっこランド」の海外版である「Gokko World」におきましては、アジア向けに展開するにあたり、2023年8月に、第1弾として、ベトナム版の配信を開始いたしました。当中間連結会計期間末において、累計ダウンロード数は170万を突破、月間プレイ回数は400万回に迫る勢いです。日本国内と同様に、ユーザーは無料で利用できること、かつ、企業から出店料を収受するビジネスモデルを強みに、今後、子ども世代の人口増加が期待され、経済成長により潜在顧客となり得る企業の増加が大いに期待されるアジアを中心に、「ごっこランド」の海外展開を行ってまいります。なお、本年4月に現地法人の設立が完了し、ベトナムの現地企業及び日系企業の出店に向けた営業活動中であり、更なる事業の拡大を目指してまいります。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は580,885千円、営業利益は150,992千円、経常利益は151,368千円、親会社株主に帰属する中間純利益は97,411千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は2,846,293千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金2,411,049千円、ソフトウェア246,915千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は570,082千円となりました。その主な内訳は、前受収益444,330千円、未払法人税等60,230千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,276,210千円となりました。その主な内訳は、資本金10,000千円、資本剰余金1,827,536千円、利益剰余金437,298千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は2,411,049千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、367,463千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益149,477千円、減価償却費75,653千円の計上、前受収益の増加127,974千円、売上債権の減少66,805千円があった一方で、法人税等の支払額47,597千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は127,161千円となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出126,070千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果得られた資金は2,074千円となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入2,074千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年4月の子会社設立に伴い、2025年12月期第2四半期（中間期）決算より連結決算に移行しております。2025年12月期の通期の連結業績予想の詳細につきましては、本日(2025年8月14日)開示しております「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,411,049
売掛金及び契約資産	39,446
仕掛品	7,536
その他	26,947
流動資産合計	2,484,979
固定資産	
有形固定資産	
建物	2,068
減価償却累計額	△905
建物（純額）	1,163
工具、器具及び備品	3,631
減価償却累計額	△3,631
工具、器具及び備品（純額）	0
有形固定資産合計	1,163
無形固定資産	
ソフトウェア	246,915
ソフトウェア仮勘定	41,829
無形固定資産合計	288,744
投資その他の資産	
繰延税金資産	50,603
その他	9,056
投資その他の資産合計	59,659
固定資産合計	349,567
繰延資産	
株式交付費	10,655
創立費	1,090
繰延資産合計	11,746
資産合計	2,846,293

(単位：千円)

当中間連結会計期間
(2025年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	16,828
未払法人税等	60,230
前受収益	444,330
その他	46,610
流動負債合計	568,000
固定負債	
資産除去債務	2,082
固定負債合計	2,082
負債合計	570,082
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	1,827,536
利益剰余金	437,298
株主資本合計	2,274,834
新株予約権	1,376
純資産合計	2,276,210
負債純資産合計	2,846,293

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
売上高	580,885
売上原価	222,518
売上総利益	358,366
販売費及び一般管理費	207,373
営業利益	150,992
営業外収益	
受取利息	2,454
その他	399
営業外収益合計	2,854
営業外費用	
株式交付費	2,459
その他	19
営業外費用合計	2,478
経常利益	151,368
特別損失	
固定資産除却損	1,891
特別損失合計	1,891
税金等調整前中間純利益	149,477
法人税、住民税及び事業税	60,565
法人税等調整額	△8,499
法人税等合計	52,065
中間純利益	97,411
親会社株主に帰属する中間純利益	97,411

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)	
中間純利益	97,411
中間包括利益	97,411
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	97,411
非支配株主に係る中間包括利益	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
	当中間連結会計期間 (自 2025年 1月 1日 至 2025年 6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	149,477
減価償却費	75,653
受取利息及び受取配当金	△2,454
固定資産除却損	1,891
株式交付費	2,459
売上債権の増減額 (△は増加)	66,805
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,901
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,138
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,145
前受収益の増減額 (△は減少)	127,974
その他	△4,040
小計	412,871
利息及び配当金の受取額	2,189
法人税等の支払額	△47,597
営業活動によるキャッシュ・フロー	367,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△126,070
その他	△1,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,161
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,074
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	242,376
現金及び現金同等物の期首残高	2,168,673
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,411,049

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年3月26日開催の第11期定時株主総会において、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するための経営戦略の一環として、現在の事業規模に応じた適切な税制の適用を通じて財務の健全性を維持し、資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、資本金の額の減少を行うことを決議し、2025年5月1日付でその効力が発生いたしました。

発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額を908,768千円減少させ、全額をその他資本剰余金に振り替える処理を行っております。この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が10,000千円、資本剰余金が1,827,536千円となっております。なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。